

【事業概要】

事業名：備北地区消防組合消防本部・三次消防署
新庁舎建設事業
発注者：備北地区消防組合
受注者：株式会社あい設計（広島市東区上大須賀町）
（契約額：129,800千円）

【建物概要】

- 庁舎棟
 - 構造規模：鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 2階建
 - 耐火性能：耐火建築物
 - 建築面積：約2,130㎡
 - 延床面積：約2,800㎡（内緊急車両車庫 約450㎡）
 - 最高の高さ：11.3m
- 訓練塔
 - 構造規模：鉄筋コンクリート造4階建て
 - 耐火性能：その他の建築物
 - 建築面積：（主）約96㎡ 副）約67㎡
 - 延床面積：（主）約200㎡ 副）約200㎡
- 付帯施設
 - 警防資機材庫：約120㎡（庁舎棟の内数）
 - 公用車庫：約110㎡

【設計の基本方針】

1. 住民の安全・安心な暮らしを支えるための災害に強く持続可能な施設
 - 迅速な出動を可能とするため、出動車路出入口部は広く、十分な視距を確保します。
 - 出動動線は、一方向が通行不能になった場合を想定し、2方向以上設けます。
 - 庁舎中心部に出動準備室を設け、仮眠室など全ての部屋からの迅速な出動を可能とします。
 - 地震に強い庁舎として、庁舎の耐震分類はI類（地震力の割増係数1.5倍）とします。
 - 災害時に必要な設備等を72時間稼働することができるよう、非常用発電機設備を設けます。
 - 災害時防災拠点として必要となる水量の7日分を受水槽に確保します。
2. 消防力の維持・向上が図れる庁舎
 - 既存の敷地の高低差を活かして、敷地内の様々な場所で多様な訓練を行える総合訓練場として整備します。
 - 主訓練塔と副訓練塔は、高さ3mの擁壁を挟み、ロープ渡過訓練スペースで繋がります。
 - 敷地内を車両が一周でき、緊急車両の運転訓練にも利用できる勾配車路を設けます。
 - 地域住民の防災意識向上のため、訓練塔廻りの見学通路や緊急車両車庫、訓練塔を見学できる屋外スペースを設けます。

- 主訓練塔の南側付近は、住民の訓練体験スペースとして放水や消火器訓練が行える場所とします。
- 3. 誰もが使いやすく開かれた庁舎**
- 敷地の出入口は、前面道路からわかりやすい位置とします。
 - 庁舎の出入口は東側とし、来客駐車場を目の前に設けます。
 - 見学デッキは、住民が気軽に立ち寄り消防を身近に感じていただける位置とし、防災意識の向上に寄与します。
 - 職員エリアと来客者エリアを明確に分離し、明快で分かりやすい動線計画とします。
 - 事務室はエントランス・ホワイエに近接して設けることで、来客者のアクセスに配慮します。
 - ホワイエ・大会議室・見学デッキをまとめて配置することで、各種イベント時などに相互利用を可能とします。
 - 女性職員に配慮し、専用の仮眠室・更衣・シャワー室を設置し、他のエリアと生活動線が交錯しない計画とします。

4. 環境に配慮した機能的・経済的な庁舎

- 既存の地盤レベルを活かした外構計画とし、土の処分や購入にかかるコストを軽減します。
- 庁舎と車庫、警防資機材庫を1棟で計画することで、強度を確保しながらコスト縮減を図ります。
- 高断熱により、外皮性能を高めます。
- 居室周りには深い庇を設け、直射日光が室内に直接入り込むことを抑制します。
- 空調は高効率機器を選定します。
- 照明器具はLED 照明とします。

【事業スケジュール】

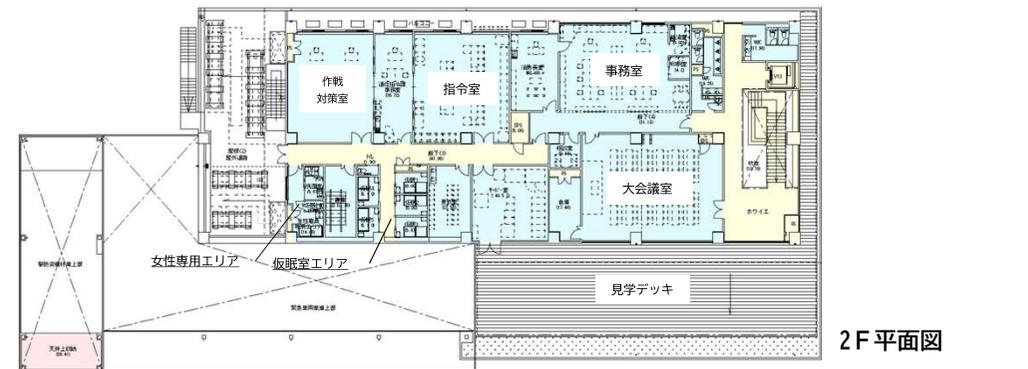
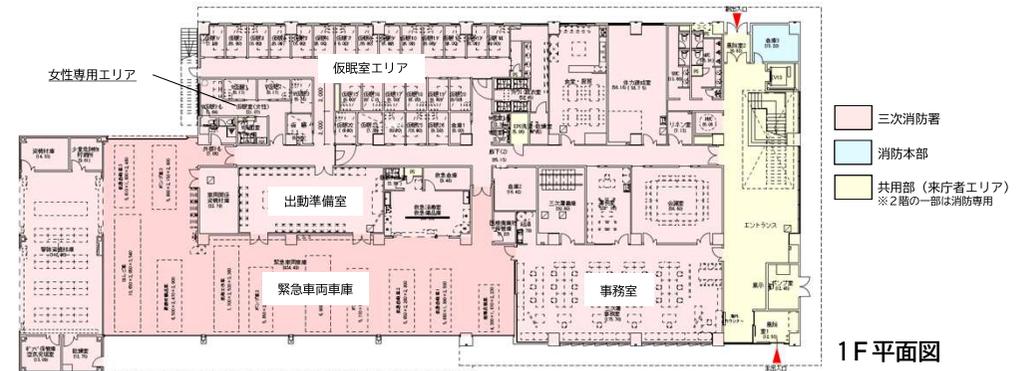
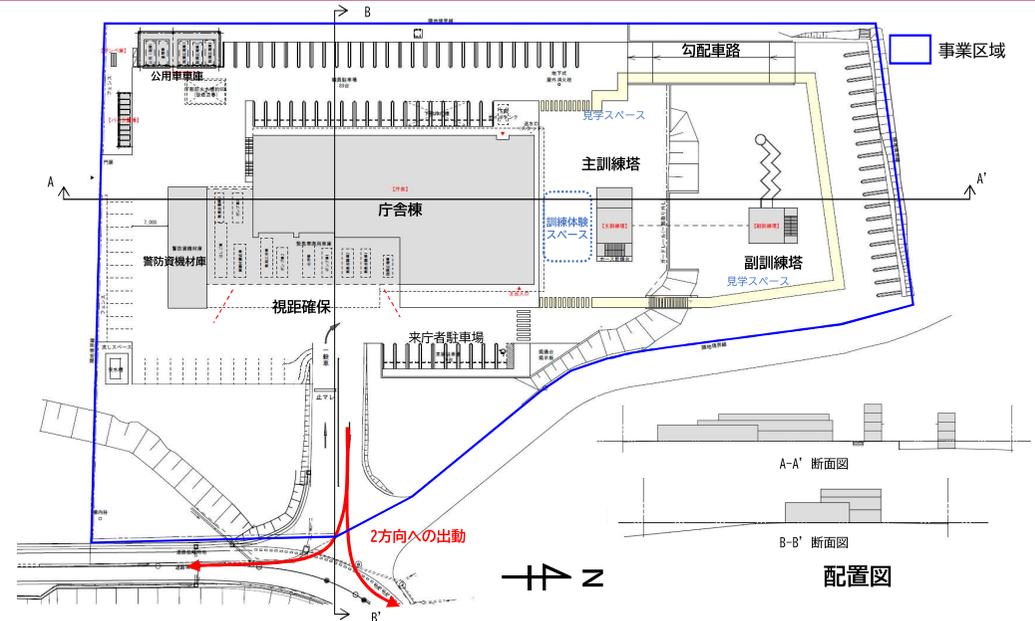
基本・実施設計 令和6年1月～10月
建設工事 令和7年1月～令和8年3月

【工事費】

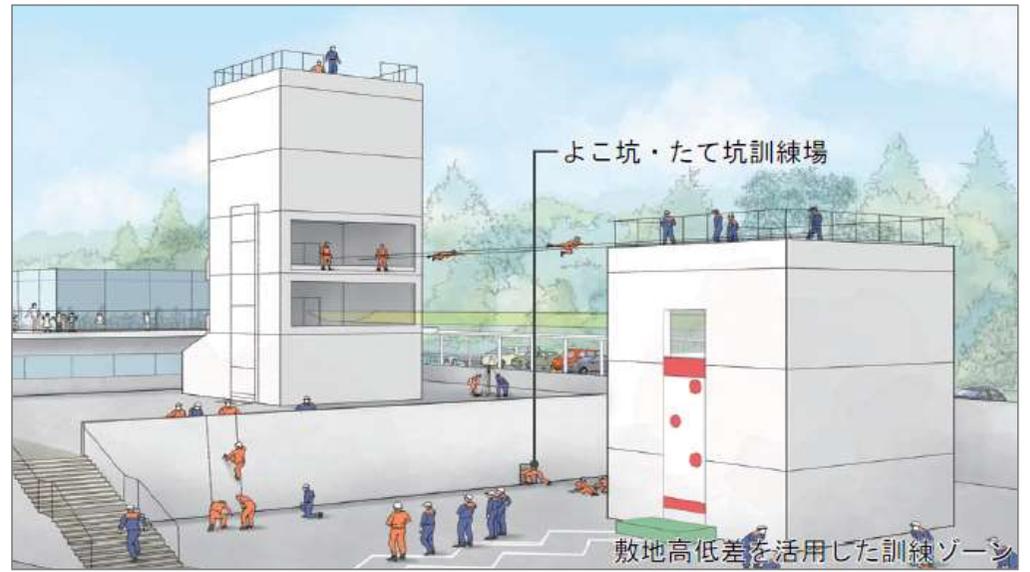
建築工事：約19.1億円
 -建築主体工事：約12.6億円
 -電気設備工事：約3.6億円
 -機械設備工事：約2.9億円
 太陽光発電設備：約3,700万円（55kw）
 外構工事：設計中

【関連工事費】

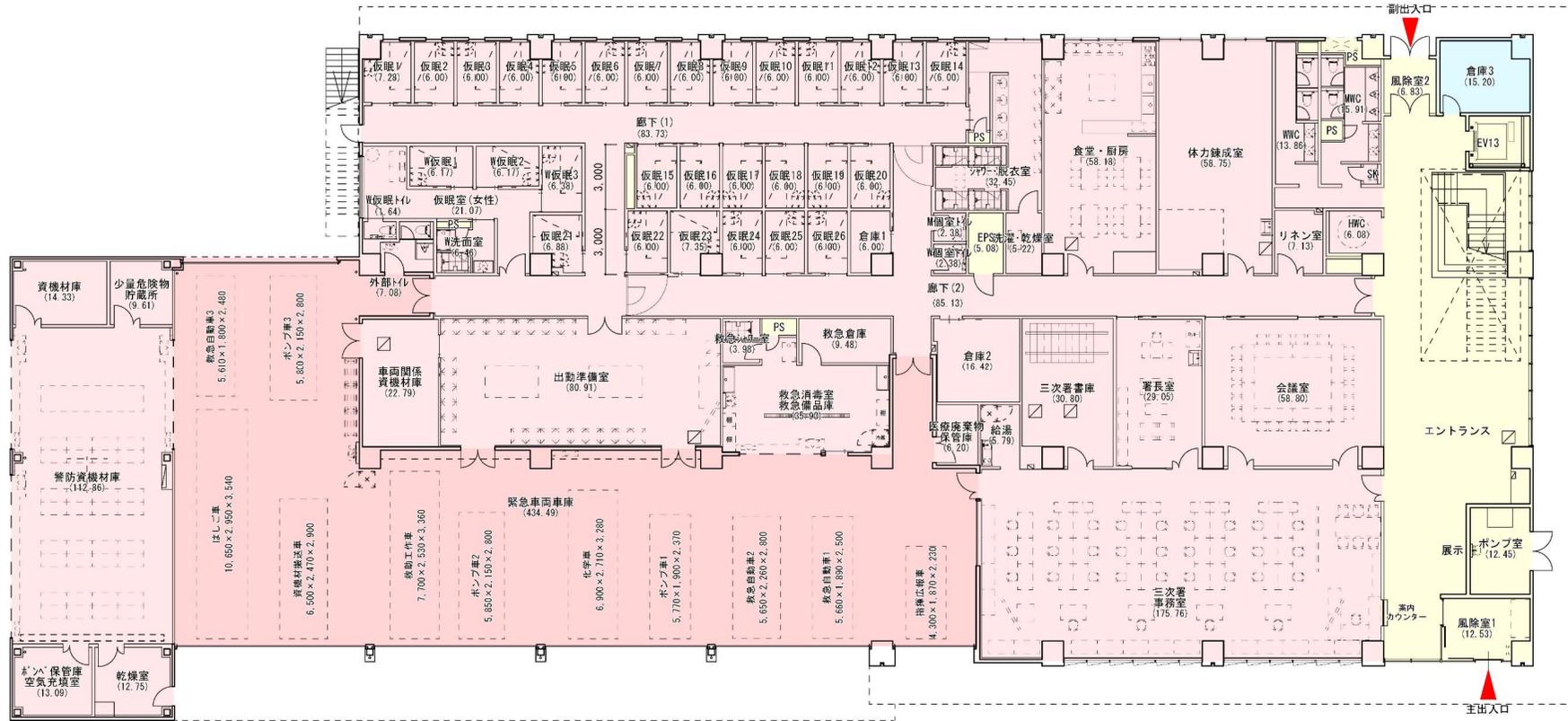
高機能通信指令機器：約6.2億円
 無線回線制御装置：約3.0億円（実施計画計上額、現在設計中）
 現庁舎解体工事：未定







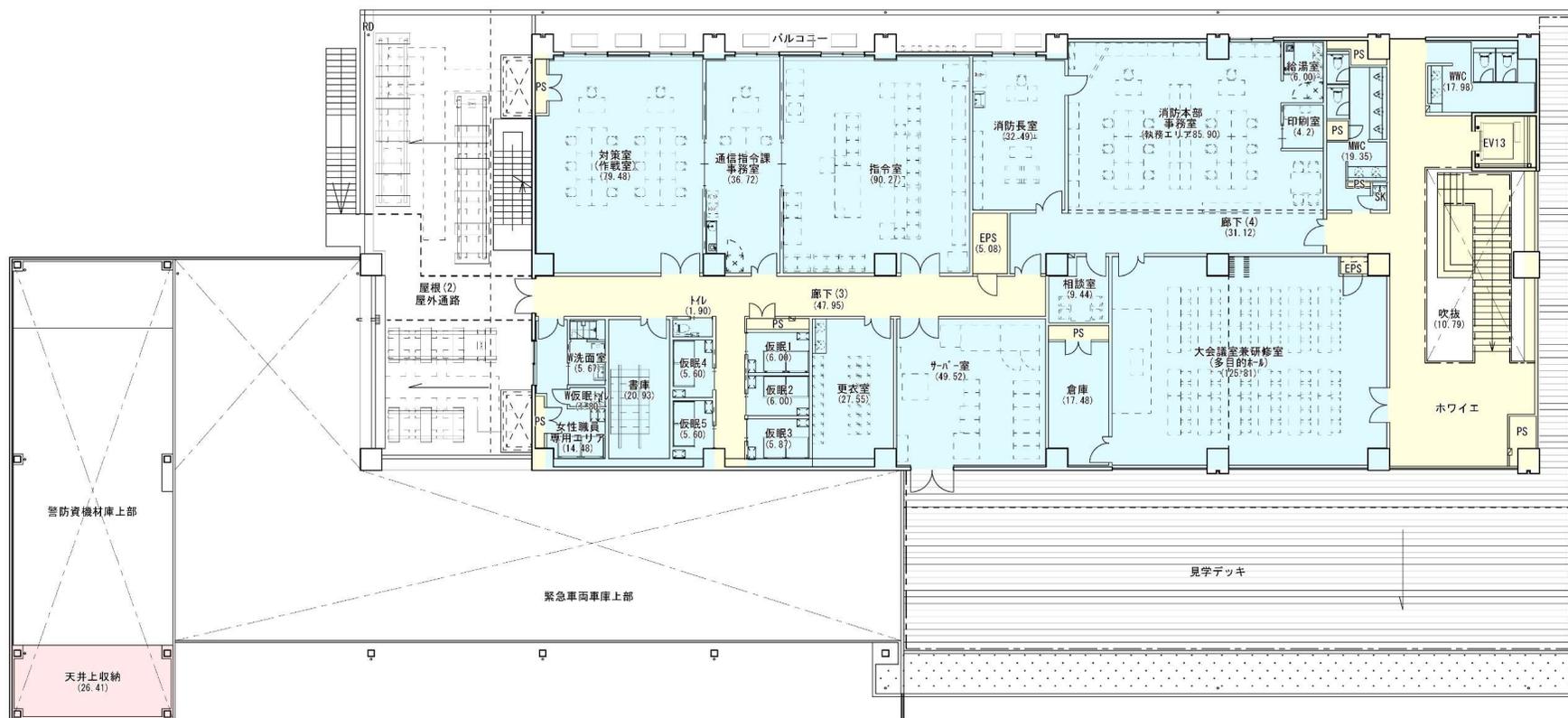
1F平面図



- 三次消防署
- 消防本部
- 共用部（来庁者エリア）
※2階の一部は消防専用



2F 平面図



- 三次消防署
- 消防本部
- 共用部（来庁者エリア）
※2階の一部は消防専用